

# 令和5年度 事業報告書

千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会

## 令和5年度 事業報告書 目次

1. 総括	1~2
2. I~II 実施事業及び受託事業について	3~6
別紙I 障害者就労促進チャレンジ事業 事業報告書及び実施状況	7~8
別紙II 実践能力取得訓練コースの委託先機関開拓業務 完了報告書	9
別紙III 令和5年度実績	10~12
別紙IV 制度施策部会 事業報告	13
別紙V 研修部会 事業報告	14~15
別紙VI 広報部会 事業報告	16
別紙VII 特別部会 事業報告	17
別紙VIII 特別支援学校との連携に関するワーキンググループ事業報告	18
別紙IX 役員 部会 事務局構成	19
別紙X 加盟センター 一覧表	20

## 1. 総括

令和5年度は、新型コロナウイルスへの対応が大きく転換した1年となりました。これまでは2類相当とされてきた新型コロナウイルスの取り扱いが、令和5年5月8日をもって季節性インフルエンザと同等の5類相当へ引き下げられました。令和6年4月に予定されていた法定雇用率引き上げと相まって、企業における障害者雇用の機運が一気に高まった年と言えます。また、コロナ禍の3年間を過ごしたことにより、「障害者雇用・就労の在り方」について、障害者を雇用する企業および働く障害者、更には我々支援機関に対し、その本質を問う機会を明示した年になったとも言えます。障害者雇用促進法の改正に伴い、障害者を雇用する企業の責務として「能力開発」という新たなワードが加わりました。このことは、「単に障害者を雇用すれば良い」というこれまでの考えを改め、企業において能力開発に取り組むと共に、真に障害のある就労者の自立を図り、更には企業において戦力として育成することを求めています。

このような動きの背景には、障害者雇用を単なる「数合わせ」として行う企業の存在があります。その多くは、障害者雇用代行ビジネスを利用し、先に挙げた「能力開発」とは程遠い取り組みによって障害者雇用を進めています。これらの問題に対して、令和5年度は2つの協議会が立ち上がり、それぞれに報告書を提示しました。

○「農園型障害者雇用研究会」一般社団法人 日本農福連携協会

○「雇用率達成ビジネス問題を通して考える障害者雇用問題検討会」(社福) 生活クラブ

いずれの会においても、代行ビジネスを肯定的に捉える報告には至っていません。しかしながら、存在そのものを全否定するものでもなく、目指すべき社会が明確になっていないことが根本にあるのではと提示しています。では、目指すべき社会とはどのような社会なのか、その社会に他の障害者雇用は内包されているのかという疑問が生じます。コロナ禍において、多くの企業で雇用する障害者の業務の創出に苦慮したと聞きました。また、在宅勤務や、出社日数を制限した勤務を継続する企業も多く見受けられました。一方で、企業の主たる業務に就いている障害者は、感染対策をとりつつ日々仕事に就いていました。このことは、障害者雇用を持続可能なものとするにあたり、とても重要なことを表していると考えます。

「戦力」としての雇用です。必要とされる存在として雇用されることが、結果として雇用継続につながると考えます。しかし、この「戦力としての雇用」は、我々支援機関がいくら訴えても、雇用する企業、働く障害者双方がその重要性を認めなければ進まないと考えます。

令和5年度、当連絡協議会は「主任就業支援担当者」を対象とした研修会を「千葉県特例子会社連絡会」との合同にて開催しました。今後の目指すべき障害者雇用・就労について共有すべく、率直な意見交換が可能な関係性を構築することが大きな目的です。また、この研修により、3年にも及ぶコロナの影響で希薄になった可能性がある「ネットワークの再構築」を図りました。今回の合同研修開催の取組は、意見交換の大切さを改めて痛感する機会となり、想定以上の効果があったのではと考えます。

「コロナ禍における過度な感染対策からの脱却と進むべき障害者雇用の模索」

令和5年度を端的に表すとこのような表現になるのではないのでしょうか。

今年度、様々な機会において連携いただいた関係機関の皆様、県内ナカボツセンターの皆様に多大なご協力をいただきましたことについて感謝申しあげ、令和5年度の総括とさせていただきます。

## I 実施事業について

### I-1 千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会総会

参加数 16センター

開催日 令和5年5月26日(金)

開催場所 加瀬の貸し会議室

内 容 令和4年度事業報告及び令和5年度事業計画について

### I-2 千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会定例会

参加数 16センター

開催日 第1回定例会 令和5年 7月18日(火) 会場:ホテルプラザ菜の花  
第2回定例会 令和5年 9月19日(火) 会場:ホテルプラザ菜の花  
第3回定例会 令和5年11月21日(火) 会場:ホテルプラザ菜の花  
第4回定例会 令和6年 1月23日(火) 会場:千葉商工会議所  
第5回定例会 令和6年 3月19日(火) 会場:ホテルプラザ菜の花

内 容 協議会運営に関する協議及び情報共有の場として2か月に1度を目安に実施。障害者雇用に関する情報交換及び行政や外部団体の新規事業説明等を行うことにより、情報共有を図る。

### I-3 千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会幹事会

参加者 会長 副会長 各部会代表 事務局

開催日 第1回幹事会 令和5年 5月 9日(火) 会場:キャリアセンター  
第2回幹事会 令和5年 7月 4日(火) 会場:キャリアセンター  
第3回幹事会 令和5年 9月 5日(火) 会場:キャリアセンター  
第4回幹事会 令和5年11月 7日(火) 会場:キャリアセンター  
第5回幹事会 令和6年 1月 9日(火) 会場:キャリアセンター  
第6回幹事会 令和6年 3月 6日(水) 会場:ふる里学舎本千葉

内 容 定例会の協議事項の確認および喫緊の課題等を協議

### I-4 障害者就業・生活支援センター連絡協議会 連絡調整会議

#### ① 第1回連絡調整会議

参加数 全16センター及び各関係団体

開催日 令和5年8月18日(金) 会場:ホテルポートプラザちば

内 容 部会活動報告、意見、情報交換、事例検討

テーマ『これからの雇用の質を考えよう』

進行 障害者就業・生活支援センター  
あかね園 主任就業支援員 中 真宏

登壇者 障害者就業・生活支援センター  
ビックハート柏 主任就業支援員 八木原 直彦

障害者就業・生活支援センター  
就職するなら明朗塾 センター長 山口 諭

参加団体

千葉県健康福祉部障害福祉事業課、千葉県商工労働部産業人材課  
千葉県教育庁教育振興部特別支援教育課、千葉県総務部人事課（チャレンジドオフィスちば）  
独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構千葉支部  
千葉労働局職業対策課、千葉県特例子会社連絡会  
千葉障害者職業センター、千葉県立障害者高等技術専門校  
千葉県発達障害者支援センターCAS  
千葉県相談支援事業所連絡会 CSK  
中核地域生活支援センター君津ふくしネット

② 第2回連絡調整会議

参加数 全16センター及び各関係団体  
開催日 令和6年3月22日（金）会場：ホテルプラザ菜の花  
内容 部会活動報告、意見、情報交換、事例検討  
テーマ『千葉の取り組みを考える』  
司会 障害者就業・生活支援センター

いちされん センター長 西村 拓士

登壇者 障害者就業・生活支援センター  
ふる里学舎地域生活支援センター センター長 松橋 達也  
就業支援員 只野 仁寛

障害者就業・生活支援センター  
千葉障害者キャリアセンター 主任就業支援員 向日 宏一

障害者就業・生活支援センター  
ピア宮敷 主任就業支援員 鶴岡 裕太

障害者就業・生活支援センター  
東総就業センター 主任就業支援員 福島 美果

障害者就業・生活支援センター  
あかね園 主任就業支援員 中 真宏

障害者就業・生活支援センター  
中里 主任就業支援員 金木 隆裕

## 参加団体

千葉県健康福祉部障害福祉事業課、千葉県商工労働部産業人材課  
千葉県教育庁教育振興部特別支援教育課、千葉県総務部人事課（チャレンジドオフィスちば）  
独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構千葉支部  
千葉労働局職業対策課、千葉県特例子会社連絡会  
千葉県就労継続支援事業A型連絡協議会  
千葉県立障害者高等技術専門校  
千葉県発達障害者支援センターCAS、千葉県相談支援事業協会 CSK  
中核地域生活支援センター君津ふくしネット、AIG ハーモニー株式会社

## I-5 各種会議体への参加、研修会等への講師派遣（別紙Ⅲ）

- ① 千葉県総合支援協議会本部会
- ② 千葉県総合支援協議会就労支援専門部会
- ③ 千葉県総合支援協議会権利擁護専門部会
- ④ 千葉県総合支援協議会精神障害者地域生活支援専門部会
- ⑤ 千葉県総合支援協議会入所・地域生活支援専門部会
- ⑥ 千葉県障害者施策推進協議会
- ⑦ 千葉県障害者就労事業振興センター理事
- ⑧ 千葉県特別支援教育研究推進会議
- ⑨ 千葉県発達障害者支援地域協議会
- ⑩ 千葉県若者自立支援ネットワーク協議会
- ⑪ 国及び地方公共団体向け障害者職業生活相談員資格認定講習
- ⑫ 千葉県知的障害者福祉協会相談支援専門部会
- ⑬ 千葉労働局～雇用安定等事業、福祉、教育、医療から雇用への移行推進事業
- ⑭ 千葉県教育庁教育振興部特別支援教育課～特別支援学校進路指導主事、就労支援コーディネーター連絡協議会への出席及び連携

## I-6 関係機関との連絡調整・会議及び業務委託

- ① 千葉県商工労働部産業人材課～障害者就労促進チャレンジ事業、企業支援員事業、笑顔いっぱいフレンドリーオフィス事業、実践能力習得訓練コースの委託先機関開拓業務
- ② 千葉県商工労働部経済政策課～千葉のちから「中小企業・小規模企業表彰」
- ③ 千葉県健康福祉部障害福祉事業課～生活支援等事業
- ④ 千葉県健康福祉部高齢者福祉課～若年性認知症に関する就労支援
- ⑤ 千葉県総務部総務課～チャレンジドオフィスちば
- ⑥ 千葉県教育庁教育振興部教職員課～県立高等学校、県立教育機関における障害者雇用

- ⑦ 千葉県立障害者高等技術専門校～委託訓練事業、連絡会への出席及び連携
- ⑧ 千葉障害者職業センター～年2回の意見・情報交換会への出席及び連携(年1回)
- ⑨ 千葉県特例子会社連絡会～年2回の意見・情報交換会への出席及び連携(年1回)
- ⑩ パソナ・千葉～千葉県障害者雇用サポート事業
- ⑪ 千葉県就労継続支援事業A型連絡協会～意見・情報交換会への出席及び連携

#### I-7 部会活動(別紙部会事業報告参照)

- ① 制度施策部会(別紙Ⅳ)
- ② 研修部会(別紙Ⅴ)
- ③ 広報部会(別紙Ⅵ)
- ④ 特別部会(別紙Ⅶ)

#### I-8 ワーキンググループ活動(別紙Ⅷ)

#### I-9 添付資料

- ① 千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会 役員・部会構成(別紙Ⅸ)
- ② 千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会加盟センター一覧(別紙Ⅹ)

### II 受託事業について

#### II-1 障害者就労促進チャレンジ事業

受託先 千葉県商工労働部産業人材課  
受託期間 令和5年4月13日(木)～令和6年3月31日(日)  
詳細 (別紙Ⅰ)令和5年度 障害者就労促進チャレンジ事業報告書参照

#### II-2 実践能力習得訓練コースの委託先機関開拓業務

受託先 千葉県商工労働部産業人材課  
受託期間 令和5年4月21日(金)～令和6年3月31日(日)  
詳細 (別紙Ⅱ)令和5年度 実践能力習得訓練コースの委託先機関開拓業務完了報告書参照



## 令和5年度 障害者就労促進チャレンジ事業 事業報告書

令和5年度は、コロナ禍も明けたため、従来通りの対面による企業向け見学会を13回、障害者向け見学会を3回開催し、短期職場実習80件の達成を目標とした。千葉労働局をはじめ、各ハローワークの協力により、法定雇用率未達成企業等への開催周知等が円滑になされたことにより、計画通り事業を遂行することができた。

特に、企業向け見学会及び障害者向け見学会を対面開催に戻した効果は大きく、その後の円滑な関係構築、支援に繋がった。次年度以降も、引き続き内容をさらに充実させ、障害者就労促進、雇用促進に寄与していきたい。

### 1 企業等の理解促進（企業向け職場見学相談会）

#### ・企業向け見学会

13圏域において開催している。先駆的な取り組みをしている企業や今後雇用が伸びていくと思われる業種の企業等を見学先企業として選考した。

基本的には現場にて、雇用管理担当者や就業している障害当事者のリアルな現状を見ていただくこととしたが、事業規模により見学が難しい企業においては、実際の取り組みを動画で紹介するなどの工夫をしている。企業及び当事者の生の声を聞く事で、雇用のイメージを持てたり、新規雇用にあたり不安軽減につながるよい機会となった。

また、見学後に個別相談会等を実施し、全体会では対応しきれないそれぞれの企業の抱える課題なども共有することができた。

13回の開催を通じて90企業223名が参加し、障害者雇用の理解促進が図られたことで、新たに障害者雇用を進めたいと希望する企業も複数あった。

### 2 障害のある人等の意識改革

今年度は3圏域で開催し、79名の障害当事者、ご家族、支援者等が参加し、企業見学・企業担当者や障害当事者との意見交換・参加者間の情報交換等を行った。

この見学会を経て今まで就業は難しいだろうと考えていた障害当事者や家族、支援者等が一般就業に意欲的になるなど、その効果は大きかった。

### 3 短期職場実習

企業支援員と協力しながら、実習受け入れ企業の開拓を行い、実習の斡旋調整を行った。結果として109企業において、122名、延べ531日の実習を行なった。

短期職場実習を通じて障害当事者と企業とのマッチングを図る機会や障害特性の理解・啓発の機会にもなり、新規雇用から定着につながるケースも多くあり、事業の効果は大きかった。

短期職場実習を通じて、その後就職につながった方は83名となっている。



様式第3号（契約第13条）

令和5年度実践能力習得訓練コースの委託先機関開拓業務  
業務完了報告書

令和6年3月31日

千葉県知事 熊谷 俊人 様

住 所 千葉県千葉市美浜区新港4-3

代表者氏名 千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会  
会長 藤尾 健二

令和5年度実践能力習得訓練コースの委託先機関開拓業務委託契約書第13条により、下記のとおり報告します。

## 記

## 1 事業実施結果

## (1) 実践能力習得訓練コースの受託企業の開拓（詳細別紙実績報告書のとおり）

① 訪問企業数	27件
② ①のうち実践能力習得訓練コースを新たに受託した企業数	7件
③ 上記②の企業が実施した訓練定員	3人
④ 訪問先企業を選定するにあたって参考とした情報等 精神障害者の雇用経験が豊富な企業、またハローワークと連携しながら、経験はあまりなくても会社全体で積極的に受け入れていこうとしている企業などを訪問し、受託の依頼をしている。	

## (2) 訓練内容や訓練カリキュラム等のコーディネート

① 訓練内容や訓練カリキュラムをコーディネートした企業数	4件
（具体的なコーディネート内容） 新たに訓練先として認定された企業において、実際に訓練が活用されるよう障害者高等技術専門校と連携し、訓練カリキュラム設定等のコーディネートを行った。	

## (3) 実践能力習得訓練コースの受託企業に対する事務手続き等の支援

① 事務手続き等の支援をした企業数	5件
（具体的な支援内容） 障害者高等技術専門校と連携し、電話もしくは必要に応じて企業を訪問するなどして、企業の事務負担軽減を図った。	

## (4) その他訓練受託企業に対する助言・支援

企業に対して、訓練当事者の障害特性や仕事の適性などを伝え、スムーズに訓練を行えるようにしたり、訓練開始後に企業・当事者双方からもう少し訓練をしたいということで期間を変更するなど柔軟な対応を図るなどした。障害者高等技術専門校コーディネーターなどと連携しながら適宜企業訪問し、不安なことがあった場合に気軽に連絡できるような関係を築くことで、戸惑いや不安は取り除くことが出来た。	
--	--

別紙Ⅲ

令和5年度実績

4月		5月		6月		7月	
1	土	1	月	1	木	1	土
2	日	2	火	2	金	2	日
3	月	3	水	3	土	3	月
4	火	4	木	4	日	4	火
5	水	5	金	5	月	5	水
6	木	6	土	6	火	6	木
7	金	7	日	7	水	7	金
8	土	8	月	8	木	8	土
9	日	9	火	9	金	9	日
10	月	10	水	10	土	10	月
11	火	11	木	11	日	11	火
12	水	12	金	12	月	12	水
13	木	13	土	13	火	13	木
14	金	14	日	14	水	14	金
15	土	15	月	15	木	15	土
16	日	16	火	16	金	16	日
17	月	17	水	17	土	17	月
18	火	18	木	18	日	18	火
19	水	19	金	19	月	19	水
20	木	20	土	20	火	20	木
21	金	21	日	21	水	21	金
22	土	22	月	22	木	22	土
23	日	23	火	23	金	23	日
24	月	24	水	24	土	24	月
25	火	25	木	25	日	25	火
26	水	26	金	26	月	26	水
27	木	27	土	27	火	27	木
28	金	28	日	28	水	28	金
29	土	29	月	29	木	29	土
30	日	30	火	30	金	30	日
		31	水			31	月

HWヒカホワセンター意見交換会

就労支援プロジェクト会議

第2回協議会幹事会(キヤリアセンター)

第1回協議会幹事会(キヤリアセンター)

第1回研修部会

第1回協議会幹事会(キヤリアセンター)

第1回協議会幹事会(キヤリアセンター)

第1回協議会幹事会(キヤリアセンター)

第1回協議会幹事会(キヤリアセンター)

第1回協議会幹事会(キヤリアセンター)

第1回協議会幹事会(キヤリアセンター)

第1回協議会幹事会(キヤリアセンター)

第1回協議会幹事会(キヤリアセンター)

第1回協議会幹事会(キヤリアセンター)

第1回協議会幹事会(キヤリアセンター)

第1回協議会幹事会(キヤリアセンター)

第1回協議会幹事会(キヤリアセンター)

第1回協議会幹事会(キヤリアセンター)

第1回協議会幹事会(キヤリアセンター)

第1回協議会幹事会(キヤリアセンター)

第1回協議会幹事会(キヤリアセンター)

第1回協議会幹事会(キヤリアセンター)

第1回協議会幹事会(キヤリアセンター)



12月	1月	2月	3月	広報誌発行
1 金	1 月	1 木	1 金	
2 土	2 火	2 金	2 土	
3 日	3 水	3 土	3 日	
4 月	4 木	4 日	4 月	
5 火	5 金	5 月	5 火	第6回協議会幹事会(キヤリアセンター)
6 水	6 土	6 火	6 水	
7 木	7 日	7 水	7 木	第6回広報部会
8 金	8 月	8 木	8 金	【OEI2024】大妻女子大学 千代田キャンパス
9 土	9 火	9 金	9 土	
10 日	10 水	10 土	10 日	
11 月	11 木	11 日	11 月	
12 火	12 金	12 月	12 火	千葉県雇用サポート事業企画提案審査会
13 水	13 土	13 火	13 水	
14 木	14 日	14 水	14 木	
15 金	15 月	15 木	15 金	
16 土	16 火	16 金	16 土	
17 日	17 水	17 土	17 日	
18 月	18 木	18 日	18 月	
19 火	19 金	19 月	19 火	第5回協議会定例会(ホテルプラザ茨城のた)
20 水	20 土	20 火	20 水	第7回制度協議会(第2回千葉県職業教育推進協議会)
21 木	21 日	21 水	21 木	
22 金	22 月	22 木	22 金	第2回連絡調整会議(ホテルプラザ茨城のた)
23 土	23 火	23 金	23 土	
24 日	24 水	24 土	24 日	
25 月	25 木	25 日	25 月	
26 火	26 金	26 月	26 火	
27 水	27 土	27 火	27 水	
28 木	28 日	28 水	28 木	
29 金	29 月	29 木	29 金	
30 土	30 火		30 土	
31 日	31 水		31 日	

## 令和5年度 制度施策部会事業報告

### I. 総括

前年度に実施した全16センターへのアンケート結果（質の良い障害者雇用について）を基に、雇用の質にスポットを当てたパンフレットの作成を開始した。目的は雇用機会の創出で、主なターゲットはゼロ人企業（未達成企業）、テキストのような構成ではなく事例紹介形式とした。大きさは広報部会が作成した本協議会のパンフレット同様、巻三つ折りのA3、6ページに決定した。

内容の検討にあたり、まず雇用前に企業から良く寄せられる質問や、企業が抱くことの多い不安や疑問を整理し、「Q」とした。次いで、対する「A」を事例紹介として、部会内で事例を集めた。そして、雇用前・後に「Q&事例」を配置し、残りのページには採用フローや用語解説を掲載することとした。

本協議会が作成する意味合いとして、就労促進チャレンジ事業や企業支援員の存在をアピールすることを重視し、現在校正を重ねている。第一稿を業者に依頼して製本し、今年度の第2回連絡調整会議にて関係各所に配布させていただいた。

### II. 活動内容

ゼロ人企業向けパンフレット「ナカボツの上手な使い方（仮）」の作成  
→部会メンバーを中心に事例を収集し、第一稿が完成

### III. 部会開催状況

第1回	令和5年	6月28日（水）	オンライン開催	今年度の活動計画の確認
第2回	令和5年	9月19日（火）	対面開催	パンフレット内容の検討①
第3回	令和5年	10月24日（火）	対面開催	パンフレット内容の検討②
第4回	令和5年	11月21日（火）	対面開催	パンフレット内容の検討③
第5回	令和6年	1月23日（火）	対面開催	パンフレット内容の検討④
第6回	令和6年	2月19日（月）	オンライン開催	第一稿の作成と意見聴取
第7回	令和6年	3月19日（火）	対面開催	第二稿の検討 次年度計画の話し合い

## 令和5年度 研修部会事業報告

### I. 総括

県内の障害者就業・生活支援センター職員の人材育成とスキルアップを目的に、令和5年度はスタッフ研修を1回、主任就業支援担当者研修を1回、研修部会員の県外視察研修、連絡協議会16センターから県外視察派遣を実施した。

スタッフ研修では、『IPSの取り組みを学ぶ、就労支援の視点について考える』をテーマに社会医療法人清和会 理事長 林 輝男氏にご講演いただき、IPSでの取り組みや当事者のストレングスに視点を当てる考え方を学び、就労支援の中で課題にばかり目を向けてしまい可能性が狭まってしまっていないか等振り返り、今後精神障害の方の就労が益々増えている中で大切な視点を考える機会となった。

主任就業支援担当者研修では、千葉県特例子会社連絡会と合同で『障害者雇用・就労支援の「質」の向上に向けて～令和4年改正が目指したもの～』をテーマに厚生労働省福岡労働局局長 小野寺 徳子氏を講師に迎えご講演いただいた。これからの障害者雇用は“雇用の質”や雇用と福祉の連携、戦力化による共生社会の実現等の新たな課題に対して企業と支援機関がどう取り組むべきか課題を共有することができた貴重な機会となった。

研修部会員県外視察研修では、より良い研修内容で開催出来るように島根県の社会医療法人清和会のIPSの実践について研修させていただいた。実際にIPSを利用している当事者の方の交流やスタッフの皆さんと意見交換を行い、非常に充実した視察研修となった。

連絡協議会16センターからの県外視察派遣として、第24回全国就業支援ネットワーク定例研究・研修会へ障害者就業・生活支援センター中里の金木隆裕氏に代表して参加いただき、得た情報や学びについて連絡協議会の16センターへ共有を図った。

令和5年度は、昨年度の活動の反省を踏まえ開催回数等を部会員の負担軽減を図りながら企画運営を行い、余裕を持ちながらも活発に活動することができた。令和6年度も今年度と同様の開催を考えていきたい。

### II. 活動報告

#### II-1 令和5年度 千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会 スタッフ研修

日 程 令和5年9月22日（金）

場 所 ホテルプラザ菜の花

参加人数 55名

研修内容 ◆講義・グループワーク

「IPSの取り組みを学び、就労支援の視点について考える」

（講師）社会医療法人清和会 理事長 林 輝男 氏



## II - 2 県外視察研修への派遣事業

### ① 全国就業支援ネットワーク第24回定例研究・研修会

日 程 令和5年11月3日(金)～11月4日(土)

場 所 名古屋国際会議場(愛知県)

参加者 千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会  
障害者就業・生活支援センター中里 金木 隆裕 氏

### ② 研修部会視察研修

日 程 令和5年7月27日(木)～7月28日(金)

視察先 社会医療法人清和会西川病院(島根県浜田市)

就労継続支援B型事業所「はまかぜ」

就労継続支援A型事業所「しおかぜ」

S・I・P・S

参加者 副会長 西村 拓士 氏(いちされん)  
研修部会 今井 宏美 氏(ビック・ハート松戸)  
研修部会 申 美娟 氏(大久保学園)  
研修部会 栗原 章泰 氏(キャリアセンター)  
研修部会長 福島 美果 氏(東総就業センター)

## II - 3 主任就業支援担当者研修(千葉県特例子会社連絡会との合同研修会)

日 程 令和6年1月19日(金)

場 所 TKPガーデンシティ千葉会議室 シンフォニアC

参加人数 22名(千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会スタッフ)  
70名(千葉県特例子会社連絡会)

研修内容 講義・グループワーク

「障害者雇用・就労支援の「質」の向上に向けて～令和4年改正が目指したもの～」

(講師)厚生労働省福岡労働局 局長 小野寺 徳子 氏

## III. 部会開催状況

第1回 令和5年 5月 8日(月) スタッフ研修打ち合わせ(web開催)  
第2回 令和5年 5月26日(金) スタッフ研修打ち合わせ  
第3回 令和5年 8月24日(木) スタッフ研修講師打ち合わせ(web開催)  
第4回 令和5年 9月13日(水) スタッフ研修打ち合わせ(web開催)  
第5回 令和5年12月28日(木) スタッフ研修振り返り(web開催)  
第6回 令和6年 1月23日(火) 次年度活動打ち合わせ

## 令和5年度 広報部会事業報告

### I. 総括

今年度の活動として、広報紙については第26号を令和5年9月30日、第27号を令和6年3月22日に発刊した。ホームページの維持と管理は、TMクリエイトに委託し、ホームページのリニューアルに向けての協議を始め、次年度も継続協議として進める。また、連絡協議会パンフレットについては昨年度からリニューアルに向けて協議を進め、これまでの内容と合わせて通常業務にも使用できるものにして完成させた。

### II. 活動内容

#### II-1 広報紙の発刊

紙面作製については有限会社アートプロセスへ委託し、部会では紙面内容を中心に協議した。より見やすく、多くの方へ協議会の活動を周知できるよう、色合いも工夫して作成にあたった。広報紙は各関係機関への送付のほか、各センターでの広報活動等で活用し、連絡協議会の活動や実績などを広く周知した。

#### II-2 ホームページの維持・リニューアル

リニューアルについてはデザイン中心に進めるか、スマホ対応型にして積極的に更新もしていくプッシュ型で進めるか等、利便性と管理面の両立をどのように図れるかを今年度より協議し、次年度も継続して進める事とした。

#### II-3 パンフレットの作成・リニューアル

10,000部を有限会社アートプロセスに依頼して印刷をし、各センターへは500部～1,000部を配布し、残りは予備で管理する事とした。

### III. 部会開催状況

第1回	令和5年	7月18日(火)	ホームページ、パンフレット、広報紙について
第2回	令和5年	9月19日(火)	ホームページ、パンフレット、広報紙について
第3回	令和5年	11月21日(火)	ホームページ、パンフレット、広報紙について
第4回	令和5年	12月19日(火)	ホームページ、パンフレット、広報紙について
第5回	令和6年	1月23日(火)	ホームページ、パンフレット、広報紙について
第6回	令和6年	3月7日(木)	ホームページ、パンフレット、広報紙について

## 令和5年度 特別部会事業報告

### I. 総括

障害者雇用ビジネスについての情報を収集していく中では、世論の動きが変わり「障害者雇用代行ビジネス」という社会課題として取り上げられている状況となる。

特別部会として調査、外部へ発信をしていく取組みを検討。当事者や企業、自治体への障害者雇用ビジネスについて調査が進められている中で、特別部会は千葉県全体への就労支援事業所を対象としたアンケート調査を計画。次年度の実施に向けて準備をしていく1年となった。

### II. 活動内容

令和5年8月23日 13:30～ 特別支援学校向けセミナー  
特別支援学校ワーキングと共同で県内特別支援学校の教員を対象に開催。  
「改めて考える連携の在り方とは」をテーマでグループワークを実施。

### III. 部会開催状況

第1回 令和5年10月2日(月) ZOOM会議 障害者雇用ビジネス調査アンケートについて打ち合わせ  
第2回 令和6年2月19日(月) ZOOM会議 障害者雇用ビジネス調査アンケートについて打ち合わせ

## 別紙Ⅷ

### 令和5年度 特別支援学校との連携に関するワーキンググループ事業報告

#### I. 総括

今年度は、コロナ禍以前のように、ほぼ予定通り、特別支援学校との様々なイベント、会議が開催され、各圏域内で学校とナカポツセンターが連携し、相互理解を深め、意見交換が出来た1年であった。

県全体で見ると、各学校、各センターで0の引継ぎや支援方法、考え方等もまだまだ違いが大きく、各校、ナカポツ双方から、ある程度の統一したフォームやシステムは必要だと思われるが、圏域ごとの地域性もある為、継続し、検討を続ける。

今後も障害者就業・生活支援センター内でも情報を集約するとともに、引継ぎや、支援を円滑に進められるよう、意見交換を続けていきたい。

#### II. 活動内容

特別支援学校就労支援ネットワーク連絡会プロジェクトチーム会議等に参加し、千葉県内特別支援学校就労支援コーディネーター幹事校等と、それぞれの圏域での連携の在り方や、在学中の支援や卒業生の定着支援の在り方等について意見交換を行った。

8月に、東葛の森特別支援学校 就労支援コーディネーター 石倉正裕先生を迎え「改めて考える連携とは？」

(会場への来場 先生32名、ナカポツ職員30名 オンライン参加5校)を開催した。

#### III. 活動状況

【就労支援ネットワーク連絡会プロジェクトチーム会議】千葉県総合教育センター

・令和5年 6月 1日(木) 15:00～17:00

・令和5年11月15日(水) 15:00～17:00

【就労支援コーディネーター連絡協議会】千葉県総合教育センター

・令和5年 4月27日(木) 14:30～16:30

・令和5年12月 4日(月) 13:00～15:00

【セミナー「改めて考える連携とは？」】

ホテルポートプラザちば

・令和5年 8月22日(火) 13:30～16:00

## 令和5年度 千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会

## 役員・部会・事務局構成

## ① 役員

役職	所属	氏名
会長	障害者就業・生活支援センター 千葉障害者キャリアセンター	藤尾 健二
副会長	障害者就業・生活支援センター 東総就業センター	辻内 理章
副会長	障害者就業・生活支援センター いちされん	西村 拓士
監事	千葉県知的障害者福祉協会 相談支援部会部会長	大越 将司

## ②部会構成

広報部会 担当：古川亮 部会長：金木隆裕	障害者就業・生活支援センター 中里	金木 隆裕
	障害者就業・生活支援センター エール	高橋 裕
	障害者就業・生活支援センター 山武プリオ	押尾 溪介
	障害者就業・生活支援センター ピア宮敷	隈井 明美
制度施策部会 担当：國島弘 部会長：中真宏	障害者就業・生活支援センター 長生プリオ	深澤 茂俊
	障害者就業・生活支援センター香取就業センター	岡澤 和則
	障害者就業・生活支援センター あかね園	中 真宏
	障害者就業・生活支援センター ビック・ハート柏	八木原 直彦
	障害者就業・生活支援センター はーとふる	田中 愛
	障害者就業・生活支援センター 明朗塾	藤井 佳奈
研修部会 担当：辻内副会長 部会長：福島美果	障害者就業・生活支援センター 東総就業センター	福島 美果
	障害者就業・生活支援センター ビック・ハート松戸	今井 宏美
	障害者就業・生活支援センター キャリアセンター	栗原 章泰
	障害者就業・生活支援センター いちされん	伊藤 史恵
	障害者就業・生活支援センター 大久保学園	申 美娟
特別部会 担当：西村副会長 部会長：鶴岡裕太	障害者就業・生活支援センター 山武プリオ	松本 順一
	障害者就業・生活支援センター ピア宮敷	鶴岡 裕太
	障害者就業・生活支援センターふる里学舎地域生活支援センター	只野 仁寛

## ③特別支援学校との連携に関するワーキングチーム

担当：松橋達也 部会長：向日宏一	障害者就業・生活支援センター 中里	高橋 麻衣
	障害者就業・生活支援センター ビック・ハート松戸	金親 健二
	障害者就業・生活支援センター香取就業センター	江畑 正史
	障害者就業・生活支援センター東総就業センター	遠藤 泰裕
	障害者就業・生活支援センター キャリアセンター	在原 秀則
	障害者就業・生活支援センター キャリアセンター	向日 宏一
	障害者就業・生活支援センター あかね園	近藤 行介
	障害者就業・生活支援センター 大久保学園	宮崎 静香
	障害者就業・生活支援センター いちされん	西村 拓士
	障害者就業・生活支援センター 就職するなら明朗塾	藤井 佳奈
	障害者就業・生活支援センターふる里学舎地域生活支援センター	米窪 佳那子

事務局	障害者就業・生活支援センター ふる里学舎地域生活支援センター
-----	--------------------------------

## 令和5年度 千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会 加盟センター一覧表

圏域	センター名	住所	電話番号
千葉	千葉障害者キャリアセンター	〒261-0002 千葉市美浜区新港43	043-204-2385
習志野	あかね園	〒275-0024 習志野市茜浜3-4-6京葉測量(株)内	047-452-2718
船橋	大久保学園	〒274-0053 船橋市豊富町690-13(とよとみみらい内)	047-457-7380
市川	いちざれん	〒272-0023 市川市南八幡5-17-11 1階	047-300-8630
野田	はーとふる	〒278-8550 野田市鶴奉7-1野田市役所 1階	04-7124-0124
松戸	ピック・ハート松戸	〒271-0047 松戸市西馬橋幸町117 ロザール松戸109	047-343-8855
柏	ピック・ハート柏	〒277-0005 柏市柏3-6-21 柏ビル302	04-7168-3003
印旛	就職するなら明朗塾	〒289-1115 八街市八街ほ244-62	043-488-5499
市原	ふる里学舎地域生活支援センター	〒290-0265 市原市今富1110-1	0436-36-7762
君津	エール	〒292-0067 木更津市中央1-16-12サンライズ中央1階	0438-42-1201
安房	中里	〒294-0231 館山市中里291	0470-20-7188
夷隅	ピア宮敷	〒299-4504 いすみ市岬町桑田341-1	0470-87-5201
山武	山武ブリオ	〒299-3211 大網白里市細草3215-19	0475-71-3111
長生	長生ブリオ	〒297-0012 茂原市六ツ野2796-10	0475-44-4646
海匝	東総就業センター	〒289-2513 旭市野中3825	0479-60-0211
香取	香取就業センター	〒287-0101 香取市高萩1100-2	0478-79-6923